

研修報告

学生研修：MSW フェア 2020

- ◆ 実施日時：2021年3月13日（土）12：30-17：50（途中参加、途中退出可。）
- ◆ 目的：現役の医療ソーシャルワーカーがMSWに関心のある学生（高校生以上）にMSWの魅力や採用情報を伝える。
- ◆ 方法：Zoomによるライブ配信（Zoom操作をシンプルにするため、学生に対してはブレイクアウトルームやチャットは使わず、全体の口頭のみ形式で実施。）
- ◆ 申込学生数：81名（内訳：大学1年生5名、大学2年生24名、大学3年生50名、大学4年生1名、専門学校1年生1名）
- ◆ 参加機関数：13機関

◆ 研修内容

学生研修委員会の進行の下、1施設20分のなかで順番に、各機関が自施設の紹介や採用情報等を伝え、口頭での質疑応答を行った。途中2回の休憩をはさみ、最後に「MSW全般についてのフリーク」を15分程度設けて終了した。

◆ 参加学生のコメント紹介

- ・新型コロナウイルスの影響により、医療機関での実習がなくなってしまいました。本日のMSWフェアに参加させていただき、大変貴重な機会となりました。（大学4年生）
- ・病院の地域特性にあった機能や役割を果たしていくことで地域に根ざした医療機関になっていくのだということを理解しました。また、説明を受け自分の適正にあった病院を探す参考とすることが出来ました。このMSWフェアを通して自分の気になる病院への見学や病院研究を行っていきたいです。（大学3年生）
- ・病院ごとに、地域性や病院の役割による特徴をわかりやすく説明してくださったので、とても参考になりました。また、入職後の新人の教育体制について説明してくださった機関もあり、自身の就職についてより具体的に考えるきっかけになったと思います。（大学2年生）

◆ 参加機関のコメント紹介

- ・リモート開催は、学生さん、医療機関側共にメリットが感じました。これまでの開催の場合、学生さんが回れる医療機関数が限られていますが、今回は参加できる学生さんはすべての医療機関の説明を聞くことができた為、医療機関にとってもアピールの場になったと考えます。その一方で、直接会って説明したり質問することで、砕けた会話ができたり、聞きづらいことも聞ける為、社会情勢が落ち着いたら再び顔の見える関係での開催ができると良いと思います。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

学生研修委員会委員長 大賀有記

研修報告

グローバル研修 2021年度 学会発表支援ゼミナール①

副会長 野田智子
研修部長 樋渡貴晴

新たな学会発表支援ゼミナール生を募集し、7人で始動しました。

今回は、オンラインにより受講となったため、県外在住の非会員の方も1人参加され、病院だけでなく老健・NPOなど多様な職場環境の方々が集まりました。来年開催予定の日本医療ソーシャルワーカー協主催の全国大会（和歌山）での発表に照準を当てスケジュールが全6回で組まれています。

講師は、日本福祉大学教授の保正友子先生で、「ソーシャルワーカーのための研究ガイドブック」を使用。初回は、はじめに補受講者全員よりゼミナールの参加動機を中心に自己紹介してもらいました。互いに意気込みや実践研究に関する問題意識を知ること、今後のゼミナールにつながる相互交流ができました。その後、保正先生より「問いの設定から研究計画書の作成まで」の講義。また事務局にて文献検索の実演を行いました。オンラインによる「ゼミナール形式」では、画面を共有しての講義とグループ（ブレイクアウトルーム）に分かれての話し合いも行うことができ、集合型ではないものの、少人数だからこそそのやり取りが可能で、醍醐味のある初回となりました。1年と長丁場になりますが、ウィズコロナの中であっても「実践研究をしたい」という気持ちに協会として講師のお力を借りつつ応えていきたいと思えます。

2021年03月21日（日）14:00～17:00 「研究のいろは・研究計画書の作り方」
05月22日（土）14:00～17:00 「研究計画書の発表」
07月10日（土）14:00～17:00 「研究進捗報告①」
09月25日（土）14:00～17:00 「研究進捗報告②」
11月13日（土）14:00～17:00 「抄録報告会」
2022年4月中旬（土）9:00～14:00 「パワーポイントの発表会」